

会長の挨拶 31 例会出席—その 6—

ロータリーは無条件で出席強制をするものではないことを知らないで片手落ちにと成ろう。ロータリーの出席義務は理論上完璧である。これに攻撃を行う余地はない。しかしロータリーは疾病その他人生上発生するやむを得ぬ突発事故を決して否定するものではない。この点と関連して、最も誤解を受けているのは出席競争である。出席競争は元来地区内の各クラブの連帯意識を高めると同時に、ロータリーにおける例会出席の重要性を各ロータリアンに認識させる手段乃至方便として1924年のテキサスのヒューストンの大会決議によって認められたものである。そして、これはあくまでも方便の問題であるから、これを行うか否かは各クラブの決断にまかされているし、日本では戦前戦後を通じて公式の出席競争は行われたことはないのである。

例会出席の義務はロータリーの本質の問題であり、出席競争は方便の問題であることを認識しよう。言い換えれば出席競争に追いまくられて、無理な出席やウソの出席報告を行うよりは、やむを得ない場合には欠席をして無理のない、そして正直な出席報告の方がはるかにロータリー精神にかなうものであることを強調したい。但し、メイク・アップは出来得る限りしよう。

(小堀憲助著 『ロータリー思想の理論構造』より引用)